



## はな 花はなぜしおれるの

はな しゅるい き みょう  
花には、種類で決まったじゅ命がある

どうぶつ みょう はな しゅるい き みょう  
動物にじゅ命があるように、花にもそれぞれの種類ごとに、決まったじゅ命があります。  
このじゅ命そのものを、大幅にのばすことはできません。

はな  
花がしおれるしくみ

はな みょう はな はっせい  
花のじゅ命がつきてしおれるとき、花びらからエチレンが発生するといわれています。エチレンは葉や花が落ちるなどの、植物の老化に関する植物ホルモンで、果実が熟するときにも、実のなかで多く作られます。エチレンは花びらの細胞膜にはたらき、物質が細胞膜を通りやすくする作用があるといわれています。

はな さ じょうたい はな さいぼう みず す は じょうたい  
花の咲いている状態は、花びらの細胞が水を吸い、ピンと張った状態です。エチレンがあると、細胞の中の水、色素、糖、アミノ酸などが細胞膜を通り抜けて、出ていってしまいます。こうして、空気の抜けたタイヤのようにしおれてしまいます。

エチレンのできるのをじゃまする、2.5ノルボルナジェンという薬をあたえると、花のしおれるのをおくらせることができるそうです。(監修・中山 周平)

